

松井製作所

松井 功さん

ハーネスでバーベ
焼肉屋さんではバーベ
焼肉屋さん

い 鉄 ア ニ ミ ス テ ン レ ス 直 錄
ど ん な 金 属 も
ヘ ラ 絞 り 加 工
穴あけができます。

今までの実績で
あらゆる金型をストック
しています

うちは親子でやっている町工場ですが、大手電機メーカーと長年、取引させてもらっています。それは、自分たちで作った金属の穴あけ用金型が1000種類以上もあるんで、丸型、小判型など、どんな穴でもすぐ“開けられるからや”と思います。手動でやってるので、1個だけの注文にも対応できますしね。

穴あけの前にはヘラ絞りという工程があるんです。父は穴あけ私も穴あけ専門なので以前はヘラ絞りは別の工場でやっていましたが、僕がヘラ絞りの技術を修得。今ではヘラ絞りから穴あけまで一貫して受けています。

うちであける穴は、0.1mmの誤差もありません。手で金属を動かしながら穴をあけますが、機械に当てる角度や金属の動かし方など、長年の仕事で身についた感覚がありますから。

金属のどんな部分にも
穴があけられる
短納期、少數加工が
うちの強みです



ヘラ絞りから穴あけまで一貫生産 機械でできない 側面の穴あけも簡単

戦後すぐ、金属に穴をあける「プレス穴あけ加工」を専門に創業し、現在の代表は2代目。さらに、息子の功さんがヘラという道具で金属板を加工する「ヘラ絞り加工」の技術を取得。松井製作所では2つの作業を一貫してできるとあり、職人による金属加工が減少傾向のなか、安定した注文がある。

長年にわたり大手電機メーカーが手がける大型施設の照明器具の反射板製作にかかる。コンサートホールやレジャー施設、美術館、大学、病院など有名施設も多い。絶大なる信頼を集めているのは、難しいオーダーにも応え、短納期を心がけているからこそ。特に、カーブのある側面への穴あけは機械では難しいが、松井さんたちの手にかかるべく、側面のどの場所にでも穴をあけることができる。側面の穴加工には、60年前から使用しているエキセンプレス機が活躍する。

息子の功さんはお父さんを「お客様や同業者からも信頼されていて、職人として尊敬している」と話す。「明日の朝までにやってくれへんか」「正月休みなしでおねがいできるか」といった無理な注文や急な変更にも、職人魂で必ず受ける。家族だけで切り盛りする町工場だからこそ小回りもきくし、機械による大量生産では作れない難易度の高いオーダーにも応えられる。功さんは稼業を継ぐ時、先行き不安だった。しかし、他社にできない横穴あけ技術、財産とも言える金型の数、そして技熟の腕があるので、「うちは絶対になくならない自信があります」と話す。

松井製作所

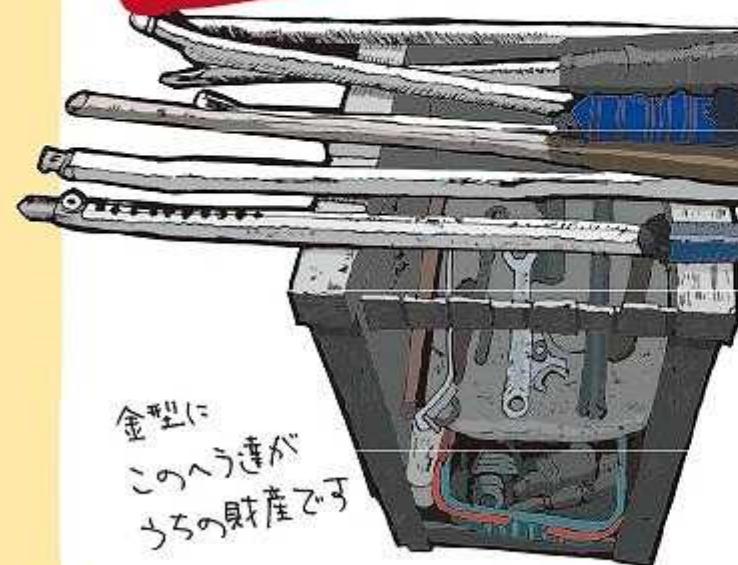
<http://matsuiseisakusho.web.fc2.com/>
〒544-0002 大阪市生野区小路2-4-26
TEL 06-6752-5320

事業内容／金属加工業（ヘラ絞り、ヘラ押し、プレス加工、プレス穴あけ加工での金属加工を行う。主に、照明器具の反射板の加工が多い）

父は絶対に
仕事を断らない



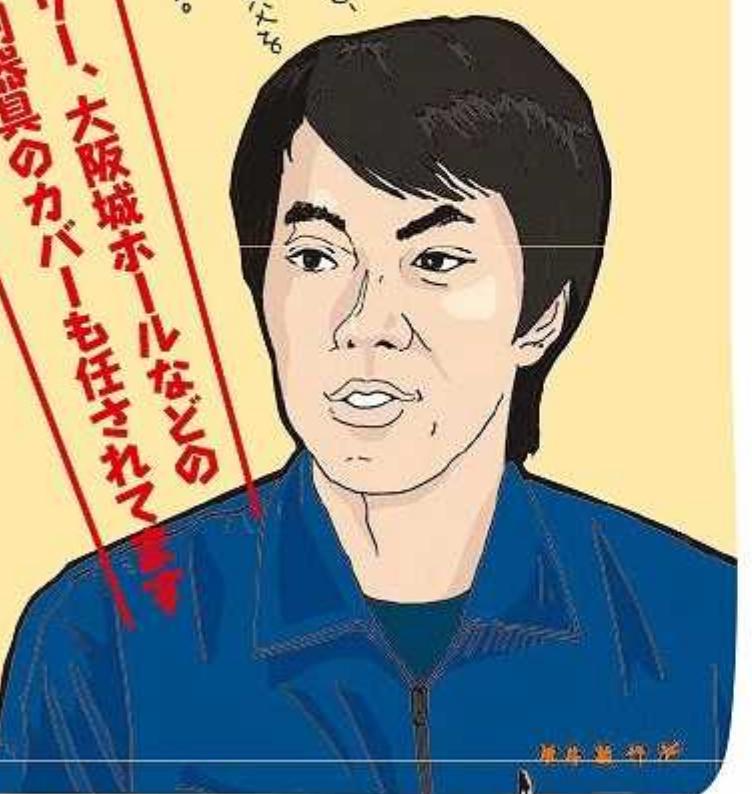
我が社の
自慢 創業以来作ってきた金型を
1000種類以上、保管している



金型は
このへう達が
うちの財産です

これまで作った金型は、用途や大きさごとに棚に整理。その数、なんと1000種類以上だとか。工場の壁一面、さらに金型を保管する倉庫まであり、代表の康弘さんは、どの金型がどこにしまってあるか、すべて把握しているそう。

金型を作るだけでも日数も費用もかかるので、まさに松井製作所の財産とも言える。この財産があるから、どんな穴あけや加工にもすぐに対応できる。



大きな照明器具のカバー、スカイツリー、大阪城ホールなどの
信頼を博しています。
職人として信頼を得ています。

側面に穴をあけらるるべからず。
横穴に穴をあけようとすると、
機械で横穴に穴をあけようとする
とき、変形してしまふ。

穴あけの作業が終わらんと、
次の作業が進まず、
全体に影響するんですよ。
（とくに）